

平成27年度第10回人間文化研究機構役員会議事概要

- 日 時 平成27年9月28日（月）14：00～15：00
- 場 所 機構長室
- 出席者 機構長、平川理事、小長谷理事、佐藤理事
- 陪席者 大崎特別顧問、広渡監事、駒形監事
- 事務担当者 事務局長、総務課長、企画課長、財務課長、施設課長、監査室長、企画課課長補佐
- 議 題

【審議事項】

- (1) 平成27年度第9回議事概要（案）について
原案のとおり了承された。
- (2) 年俸制適用者の決定について
平川理事から標記について説明があり、審議の結果、同意書の提出があった18名について年俸制を適用することが了承された。
- (3) 平成27年度目的積立金の取崩（第1回）について
平川理事から標記について説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。
- (4) 人間文化研究機構仕事と育児の両立支援プログラム実施要項について
小長谷理事から標記について説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。
- (5) 資源共有化事業に係る特任研究員の採用について
佐藤理事から標記について説明があり、審議の結果、第1位の候補者を採用することを決定した。なお、第1位の候補者から辞退があった場合は、第2位の候補者を採用することも了承された。

【報告事項】

- (1) 年俸制給与規程に係る過半数代表者からの意見について
事務局から標記について報告があった。なお、1機関の過半数代表者から年俸制を導入するに当たっては不利益が生じないよう適切に運用していただきたい等の意見があり、その機関の意見については、個別に対応する旨報告があった。
- (2) 平成26事業年度財務諸表の承認について
平川理事から標記について報告があった。
- (3) 平成27年度機構長裁量経費（第2回）に係る要望について
平川理事から標記について報告があった。
- (4) 「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」に基づく履行状況調査（書面調査）について
事務局から標記について報告があった。なお、未対応事項については、早急に対応を検討する旨報告があった。
- (5) 公的研究費等の不適切な経理処理に関する再発防止策の取組状況について
監査室長から標記について報告があった。

(6) その他

- ・大型プロジェクトに関する作業部会（国文研）について

平川理事から、14日に文部科学省において開催された標記作業部会による評価ヒアリングについて、共同研究に対する広報のあり方について企業等との連携が必要ではないかとの意見があった旨報告があった。

- ・広報のあり方について

機構長から、バチカンで開催されたマレガプロジェクトシンポジウムについての報道の際、人間文化研究機構、国文学研究資料館の名称がほとんど報道されていなかった現状を踏まえ、今後、積極的な広報を行う必要がある旨発言があった。

以 上